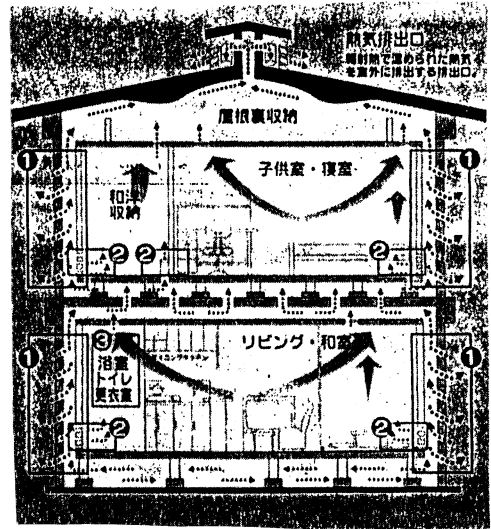


…エアサイクルで省エネ健康住宅（沖縄）…

沖縄は、コンクリートの住宅が主流ですが、強い日射しによりコンクリート外壁が温められて生じる輻射熱が一番の問題です。弊社の取引先である会社がこの輻射熱対策住宅として開発したのが省エネ健康住宅「おきなわクール」です。これは、住宅全体を24時間自然の風で換気するエアサイクルシステムで、コンクリート外壁の輻射熱を解消するだけでなく、今問題となっている室内のホルムアルデヒド濃度を低減させる効果もあります。

この「おきなわクール」には大きく4つの特長があります。

- ①自然の風を利用した断熱工法で、「熱せられた空気は上昇する」という自然の原理を利用しています。コンクリート外壁の輻射熱で温められた空気は、コンクリート外壁と内壁の間に設けた50ミリの通気層を通り、屋上に取り付けられた塔屋から排出する仕組みになっています。これによりコンクリート外壁の輻射熱は99%カットされ、室内温度上昇を防ぎ冷暖房効果の高い省エネ住宅になっています。（沖縄では、木造住宅より涼しいコンクリート住宅とされています。）
- ②トータルルーム換気システムで、断熱工法に加えて居室、押入、収納等室内全体の空気が自然に外気と換気する工法です。部屋を閉め切ったままでも24時間換気しているので、室内汚染物質のホルムアルデヒドなどの滞留はなく（ホルムアルデヒドは従来のものより1/4以下になっています）、カビやダニの発生も防ぎます。また、換気システムを活用するために、防腐防蟻薬剤は一切使っていません。
- ③トイレ、浴室、洗面所などの水廻り部位は、他の居室とは別の独立した自然換気システムを取り、水廻りの湿気が他の居室に入り込まず、黒カビなどの発生を防ぎます。
- ④防腐防虫薬剤を一切使わなくとも、白アリの入り込まない構造です。



沖縄の気候風土を研究して生まれたこのコンクリート住宅の良いところを鹿児島島の気候に合うよう取り入れ、快適な健康住宅造りに取り組んでいきたいものです。

【情報】6月15日、住宅の品質確保促進に関する法律案が成立しました。この法律は今後の中小工務店にとっては死活問題にもなりかねません。住宅性能表示制度など詳しい内容が分かり次第、得々ニュースでお知らせします

《定休日》7月は、4、10、11、17、18、24、25、31日になります。

8月は、1、8、13、14、15、16、22、29日になります。

ご協力宜しくお願いします。



（お問い合わせは、お客様サービス係の森園まで）